

学校での突然死ゼロを目指して

～ 小学校からの教諭による救命教育の推進 ～

【意義】学校管理下における児童生徒の死亡事例では、突然死が死因の第一位である。

文部科学省は「学校事故対応に関する指針(平成28年3月)」を作成、心肺蘇生をはじめとした学校の対応能力の向上を呼び掛けている。

さいたま市では、平成23年9月 駅伝練習中に突然倒れ亡くなった桐田明日香さんの事故を踏まえ「体育活動時等における事故対応テキスト～ASUKAモデル～」を作成し、併せて市立小学校5年から高校までの一貫した救命教育を展開している。

フォーラム第1部では、小学校の教諭による救命教育(心肺蘇生)の公開授業を行い、指導法を参加者に伝え、第2部のシンポジウムでは「ASUKAモデル」関係者、文部科学省、市長、教育委員会、養護教諭、教諭など「学校での突然死ゼロ」の推進に係る方々の議論を通して、今後の取組の在り方や実践方策について探求していく。

2019年2月16日(土) 9:00～12:00

つくば市立竹園西小学校

(つくば市竹園2丁目19-4)

TXつくば駅より徒歩13分

車でご来場の方は近隣の駐車場をご利用下さい

参加無料

事前申込



主催 日本AED財団

共催 つくば市教育委員会、日本臨床救急医学会

後援 (予定) 文部科学省、厚生労働省、総務省消防庁、日本医師会、日本赤十字社、日本学校保健会、全国学校安全教育研究会、全教図、大修館書店、学研メディカル秀潤社 (確定) 茨城県教育委員会、筑波大学、茨城大学、茨城県医師会、茨城県看護協会、茨城新聞社、NHK水戸放送局



一般財団法人 日本AED財団

<http://aed-zaidan.jp/>

学校での突然死ゼロを目指して

～ 小学校からの教諭による救命教育の推進 ～

プログラム

開始 9:00 (開場 8:40)

第1部 救命教育の公開授業

9:25～10:10

竹園西小学校 5年生

担任教諭：久保 絵美

養護教諭：佐藤 直子



公開授業の様子(昨年度)

第2部 シンポジウム

10:30～12:00

座長 立川 法正 (筑波記念病院 救急科診療部長)

「ASUKAモデルへの想いと救命教育の推進」

ASUKAモデル関係者・桐田明日香さんのお母様 桐田 寿子

「ASUKAモデルから見る救命教育の現状と課題」

元さいたま市教育長・日本AED財団理事 桐淵 博

「子供の命を守るこれからの学校安全」

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課 吉門 直子

「日本一の救命都市<つくば>を目指して」

つくば市長 五十嵐 立青

「つくば市の学校における救命教育」

つくば市教育局教育指導課 岡野 知樹

「PUSHコースを用いた救命教育を実践して」

つくば市立竹園西小学校教諭 久保 絵美

申し込み方法

右のQRコードからWebにアクセスの上、お申し込み下さい。

QRコードが読み取れない方は、下記アドレスにアクセスの上、お申し込み下さい。

<https://goo.gl/forms/tg15oEXyR7GVequx2>

【申込締切】 2019年1月31日 (定員300名)

定員になり次第締め切りとさせていただきます



一般財団法人 日本AED財団

<http://aed-zaidan.jp/>